

会 員 各 位

平成30年2月23日

京都市産業技術研究所内
京都染色研究会
委員長 杉本 徳行

第773回 研究例会の開催について

春寒の候 皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は当研究会の運営にひとかたならぬご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、この度当研究会では**第773回研究例会**を下記のとおり開催する運びとなりました。
ご多用とは存じますが万事お繰り合わせのうえ、是非ともご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

日 時 平成30年3月22日（木） 14時00分～16時20分

会 場 地方独立行政法人京都市産業技術研究所 2F 多目的ホール

京都市下京区中堂寺栗田町91 京都リサーチパーク9号館南棟（五条七本松西入南側）

（TEL.（075）326-6100, FAX.（075）326-6135）

参加費 染色研究会会員 : 無料 会員外 : 3,000円

【内 容】

テーマ 『 最近の重合技術が可能にする機能性高分子の設計とは？ 』

講 師 福井大学学術研究院工学系部門

准教授 杉原 伸治 氏

様々な高分子が利用されている現在、もう一度その高分子合成・調整方法を見なおすことで、これまでに得られなかった機能を付与させることが可能になる。例えば、カチオン重合でしか合成できない高分子をラジカル重合で合成できないだろうか？温度応答性をはじめとする刺激応答性はどうか？そこから構造色は出せないか？重合を巧みに利用した自己組織化は？等、どのような分子設計でこれら興味深い機能を生み出すことができるか、高分子合成屋の立場に立って、繊維や染色加工の技術との繋がりを考えてみる。

テーマ 『 機能性インテリアについて 』

講 師 株式会社川島織物セルコン
商品本部

研究開発室 室長 早瀬 重喜 氏

私たちを取り巻くインテリア空間、そこには様々な機能性を持ったファブリック製品が使われています。それらは特徴的な糸の組合せにより織物構造として機能発現させたり、機能薬剤の付与により発現させたりします。今回はカーテンを中心にそれら機能性について説明を致します。

防炎性・遮光性といった古くから馴染みのある機能から、抗菌性・光触媒によるVOC低減等の安心機能、遮熱・保温等の省エネ機能、更には最近の新たな機能トレンドについて報告をさせていただきます。